



# 体協だより



## 創立60周年・財団法人化30周年を迎えて

一般財団法人士別市体育協会  
会長 神田 英一

士別市体育協会創立60周年、並びに財団法人設立30周年の記念すべき年を皆さんとともに迎えることができましたことは、喜びに耐えません。

当協会は昭和32年に市内のスポーツ団体を総括する組織として設立されました。以来、士別市におけるスポーツの普及振興に努め、昭和62年には財団法人として事業を展開し、その後公益法人改革三法の施行により、平成22年4月に一般財団法人に移行したところであります。

これまで市民ニーズに対応するサービスの向上に努め、スポーツによる健康体力づくりや、競技力向上及びスポーツ指導者の育成などに力を入れ、新たな創造と持続的発展を目指した活動を推進して参りました。

この60年の長きに亘る歩みは、歴代会長を始め多くの先輩諸兄の情熱と士別市をはじめとする関係機関並びに関係各位の皆様方のご指導そして市民の皆様方のご協力の賜物であり、心から感謝を申し上げます。

当協会は現在25のスポーツ団体、三千余名の会員を擁する組織となっております。各加盟団体においては多くの市民の参加の中、熱心な指導と適切な組織運営において、優秀選手の輩出や生涯スポーツの推進に寄与しながら着実な進展を遂げております。

この間、事務局体制の強化と合わせ、市の委託事業としての総合体育館を中心とする市内スポーツ施設の管理業務や、各種イベントの運営業務の拡大などにより、協会運営も順調に推移して参りました。これもひとえに、関係の皆様方のご指導とご支援があったることと厚くお礼を申し上げます。

さて、今日のスポーツ活動を取り巻く環境も大変難しい時代の中ではありますが、スポーツは時代を超えて人々に感動を与えます。それだけに、スポーツのある生活は元気な街づくりの大きな原動力になるものと確信をいたすものであります。

今後も士別市が掲げております「健康・スポーツ都市宣言」にふさわしい元気な街づくりに貢献できますよう、より一層の努力を重ねこの創立60周年並びに財団法人設立30周年を当協会にとって次なる飛躍にすべく、決意を新たに邁進していく所存であります。

今後とも関係の皆様のご指導、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

# 士別市体育協会創立60周年・財団法人化30周年

特別功労賞 健康・体力づくりサポート事業アドバイザー 須田 力氏



北海道大学名誉教授

須田 力氏

平成20年度から開始した当協会の重点課題として位置づけている「健康・体力づくりサポート事業」において、科学的根拠に基づいた事業展開を図るためにスポーツ健康科学の専門家として事業アドバイザーに就任を頂きました。

事業開始から今日まで、健康セミナーやスポーツ健康科学をテーマにした教室など、幅広い年齢層に対してスポーツと健康の重要性を実践的に指導して頂いております。中央都市部以外では実施困難とされている、全身持久力や血中乳酸値などの専門性の高い測定の実施も含め、市民の健康体力づくりに関する事業全般において専門的なご助言を頂き本事業の推進に多大なご尽力をされておられます。また、須田氏は、スポーツ健康科学の分野では、積雪寒冷地に根差した健康運動に精通されており、全国的に報告事例の少なかった「スノーシューの運動効果」を検証する研究にもご協力頂き、これまで当協会が実施できなかった研究事業にも献身的なサポートを頂いております。

## 科学的根拠に基づいた当協会の健康・体力づくりサポート事業 全身持久力の向上が最重要課題！

本事業では特に「全身持久力」の向上に重点を置いた事業推進を図っており、国際的な研究や、須田氏の長年にわたる研究でも「全身持久力」を向上させることが生活習慣病や心疾患、肥満などのリスクを軽減させる効果があることが証明されています。その指導を基に、体力レベル（全身持久力）を簡単なウォーキングで数値化する測定事業や、ウォーキングやスノーシュー等の教室事業も充実し、日常生活における市民の運動が定着されるようになってきました。



## 研究調査やシンポジウム発表にも挑戦

情報の「解析」と「発信」を意識したこれまでの10年！



当協会は今まで専門家である須田先生の協力を得て、近年、人気を集めているスノーシュー教室の運動効果を実証する研究調査にも挑戦し、シンポジウムや学会において研究成果の発表も実現させることができました。さらに、研究の続編として、北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センターとの共同研究も実現しています。これらの士別オリジナルの研究調査の成果は健康づくりに励む市民への情報提供とすることはもちろん、HP等を活用し、積雪寒冷地に根差した健康・体力づくりの提案として発信しています。

## これまでの事業成果を踏襲したこれからの事業展開 健康・体力づくりサポート事業も次の10年へ！

市民の運動の定着化を重点課題としてきた本事業は今後、「士別流」「士別オリジナル」の健康・体力づくりを意識した事業展開を図ります。特に運動実践が困難とされる勤労者を対象とし、労働時間や生活スタイルに合わせた運動の提案や各種測定を効果的に用いるなどの事業推進を検討しているところです。

# 第46回士別市スポーツ表彰受賞者

## スポーツ功労賞



小西 弘

士別軟式野球連盟

昭和38年に士別軟式野球連盟の組織改称に伴い役員として連盟運営の一翼を担ってきました。昭和40年には全日本軟式野球連盟公認審判員の資格を取得し、以後、連盟の組織強化と審判員の技術力向上に傾注した功績は多大なものがあります。更に軟式野球の歴史、魅力を地域住民にも幅広く周知しようと、少年団から社会人までの各種大会結果の収集と記念誌等の編集発刊まで手掛けており、手作りの広報活動も展開しています。近年は地元高校を対象にした「高校野球100年」「白球の軌跡」「私の野球半世紀」を地元新聞社に連載で寄稿もしています。

■士別軟式野球連盟	理事	昭和51年	～	昭和61年
	副理事長	昭和62年	～	平成12年
	理事長	平成13年	～	平成16年
	副会長	平成17年	～	平成19年
	会長	平成20年	～	平成25年
	相談役	平成26年	～	



高橋 弘暢

士別柔道連盟

20年以上にわたり士別柔道連盟の中心的立場として競技の普及・強化に尽力されています。また、現在も連盟トップとして組織を牽引し、更には上部団体である名寄地方柔道連盟相談役として上川北部の柔道競技の発展にも寄与しています。講道館柔道七段、自己に厳しいが他には温和で優しく、選手・父兄からの信頼も大変厚いです。

■士別柔道連盟	理事長	平成4年	～	平成9年
	副会長	平成10年	～	平成13年
	会長	平成14年	～	現在



鷺見 謙一

士別柔道連盟

80年続く誠心館道場の三代目館主。士別柔道連盟の理事長としても組織の中心的立場で競技の普及・発展に尽力されています。また、現在は名寄地方柔道連盟会長として北海道柔道の発展にも寄与されています。柔道に限らず他のスポーツへの理解も深く、士別体協でも長年にわたり理事・評議員の職を務めています。講道館柔道六段、柔道を通して青少年の育成に多大な貢献をしています。

■士別柔道連盟	事務局長	平成8年	～	平成13年
	理事長	平成14年	～	現在
■名寄地方柔道連盟	理事長兼事務局長	平成20年	～	平成26年
	会長兼理事長	平成27年	～	現在
■士別誠心館道場	三代目館主	平成25年	～	現在

## スポーツ賞



### 今井 好彦

士別ソフトボール協会

昭和51年に第3種公認審判員、昭和62年に第2種公認審判員を取得し、現在は協会の審判長として審判員の指導と育成に尽力されています。また、全道中学、全道高校等の各種大会にも率先して参加しています。現在は士別ソフトボール協会の副会長として組織の発展に寄与しています。

- 士別ソフトボール協会 副会長 平成20年～現在
- 審判長 平成18年～現在



### 鐘ヶ江 一将

士別スキー協会

士別地方スキー連盟を代表する指導者の一人です。北海道スキー連盟技術員、全日本スキー連盟ブロック技術員としての活躍と貢献度が高く評価され、現在は北海道スキー連盟シニアアドバイザーとしても道内で活動しています。また、士別スキー学校設立時から主任教師を務め、平成22年からは学校長に就任しており、士別市内はもとより道内各地から子供たちが入校しています。

- 士別スキー協会 副会長 平成20年～現在
- 士別スキー学校 校長 平成22年～現在
- 北海道スキー連盟 技術員 昭和59年
- 全日本スキー連盟 ブロック技術員 平成5年

## スポーツ奨励賞



### 鈴木 大介

士別翔雲高校3年  
士別陸上競技協会

持ち前のバネと高い運動能力を生かし、1年生から走幅跳びと三段跳びの2種目においては常に高体連支部大会で優勝を果たしてきました。今年度は全道高校陸上競技選手権大会で入賞し、見事全国大会の出場権を獲得しました。また、後輩の面倒見も良く、陸上競技に対しての真摯に取り組む姿勢はチームの模範となっています。

- 平成29年度全国高校総体陸上競技大会 三段跳び 出場
- 平成29年度全道高校陸上競技選手権大会 三段跳び 第6位
- 平成29年度高体連名寄支部陸上競技大会 走幅跳び・三段跳び 優勝

## ジュニア・スポーツ奨励賞



### 辻本 幸翼

士別中学校3年  
士別陸上競技協会

中学1年生から専門的に陸上競技をスタートさせ、日々の練習にも大変熱心に取り組む努力家です。今年度は北海道中学校陸上競技大会男子3000mで優勝し、熊本県で開催された全日本中学校陸上競技選手権大会に出場を果たしました。士別中学校陸上競技部を牽引するエースです。

- 平成29年度第48回北海道中学校陸上競技大会 男子3000m 優勝
- 平成29年度第44回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子3000m 出場
- 平成29年度第19回北海道ジュニア陸上競技選手権大会 男子3000m 優勝
- 平成29年度第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会 男子3000m 出場予定
- 天皇盃第23回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 出場予定



## 士別中学校陸上競技部

士別陸上競技協会

昨年度、北海道中学校駅伝競走大会において見事に初優勝を果たし、全国中学校駅伝大会に出場しました。チームの活躍で「士別を元気に!!」を合言葉に、笑顔と感謝の気持ちを大切に練習に取り組んでいます。今年度は新チームで2連覇を目指し、日々の練習に励んでいます。

■平成28年度第34回北海道中学校駅伝競走大会 優勝

■平成28年度第24回全国中学校駅伝大会 出場



## 林 田 心

名寄南小学校 4年  
士別レスリング協会

小学1年生から始めたレスリングは現在で4年目。まじめな性格と常に努力を続ける姿は、チーム内の小学生の良い見本であり全体の士気も高めています。今年度は初めて北海道少年少女レスリング連盟の強化指定選手認定も受け、11月に道外遠征に派遣されることも決定しています。

■平成29年度第34回全国少年少女レスリング選手権大会

小学4年生女子の部 24kg級 第2位

■平成29年度第34回北日本少年少女レスリング選手権大会

小学3～4年生女子の部 26kg級 優勝

■平成29年度北海道少年少女レスリング連盟強化指定選手



## 羽 田 創

士別南中学校 3年  
士別ウエイトリフティング協会

中学2年生で士別ウエイトリフティング少年団に入団。日々の練習に熱心に取り組み、各種大会で好成績を収めています。向上心が強く、常に目標を持って練習にまじめに取り組む姿勢は他の選手の良い見本となっています。

■平成29年度第31回全国男子中学生ウエイトリフティング競技選手権大会

94kg級 優勝



## 丹 翔 琉

士別南中学校 3年  
士別ウエイトリフティング協会

小学5年生で士別ウエイトリフティング少年団に入団。中学1年生からは本格的に競技を始め、日々の練習にも意欲的に取り組み各種大会で好成績を収めています。向上心が強く常に目標を持って練習にまじめに取り組む姿勢は他の選手の良い見本となっています。

■平成29年度第31回全国男子中学生ウエイトリフティング競技選手権大会

50kg級 6位



## 目 黒 脩 也

士別南中学校 3年  
士別ウエイトリフティング協会

中学1年生で士別ウエイトリフティング少年団に入団。日々の練習に熱心に取り組み、各種大会で好成績を収めています。向上心が強く、常に目標を持って練習にまじめに取り組む姿勢は他の選手の良い見本となっています。

■平成29年度第31回全国男子中学生ウエイトリフティング競技選手権大会

77kg級 4位



## 上村 洸太

士別中学校 2年  
士別柔道連盟

3歳から柔道を始め小学生時代も全道各地の大会で常に優秀な成績を収めてきました。向上心が強く、後輩の面倒見も良く他の選手の良い見本となっています。また、中学2年生にも関わらず全道中体連で優勝し、柔道競技としては士別中学校から8年ぶりの全国大会出場を成し遂げました。現在、講道館柔道初段、今後も更なる活躍が期待されています。

■第45回北海道中学校柔道大会 55kg級 優勝

■第48回全国中学校柔道大会 55kg級 出場



## 垂又 征吾

和寒小学校 6年  
士別柔道連盟

幼児期から兄と一緒に道場に通り、日々の厳しい練習にも積極的に取り組むことのできる努力家です。柔道を始めた当初より、常に道内大会では上位入賞を果たしています。今年度は個人成績だけではなく団体戦でもチームを全国大会に出場させる中心的選手として活躍しました。明朗活発な性格はチームの中でも頼られる存在です。

■第14回北海道小学生学年別柔道大会 6年生男子50kg超級 第2位

■第14回全国小学生学年別柔道大会 6年生男子50kg超級 出場



## 後藤田 柊斗

上士別小学校 5年  
士別柔道連盟

昨年4月から柔道を始めたにも関わらず、日々の厳しい練習にも耐える強い心で各種大会では好成績を収めています。今年度は個人戦で全道2位となり全国大会に出場。また、団体戦においてもチームのポイントゲッターとして活躍し全国大会に出場しています。明るい性格はチームのムードメーカーでもあります。

■第14回北海道小学生学年別柔道大会 5年生男子45kg超級 第2位

■第14回全国小学生学年別柔道大会 5年生男子45kg超級 出場

■第26回日整全国少年柔道大会（団体戦）メンバー



## 誠心館柔道スポーツ少年団

士別柔道連盟

20年ぶりに全道2冠（団体戦）を達成し、今後の全国大会での更なる活躍が期待されています。また、スポーツ少年団及び総合型地域スポーツクラブ事業への積極的な参加で、地域におけるジュニアスポーツ団体の中核としても貢献しています。

■平成29年度第31回マルちゃん杯北海道少年柔道大会 小学生の部 優勝

■平成29年度第26回北整全道少年柔道大会 小学生の部 優勝

# 一般財団法人士別市体育協会足跡の概要

昭和32年	士別市体育協会設立準備委員会が発足 10加盟団体により士別市体育協会発足 初代会長に清光正雄氏が就任	平成11年	士別市から剣淵川パークゴルフ場の管理業務を受託
昭和33年	総合グラウンド建設推進委員会発足	平成12年	多寄スポーツクラブ設立
昭和34年	体育協会第2代会長に印藤栄二氏就任	平成14年	士別市総合型地域スポーツクラブ運営委員会設立 士別中央・上士別・温根別の各地区にスポーツクラブ設立
昭和40年	陸上競技場、スキー場、野球場等の整備充実を市に陳情	平成15年	士別市からふどう大橋パークゴルフ場の管理業務を委託
昭和44年	体育館建設促進協議会を発足し、市、市議会に早期建設の陳情書を提出	平成16年	体育協会第4代会長に岡田晃氏就任
昭和46年	財団法人北海道体育協会に加盟	平成17年	士別市から総合体育館・青少年会館の管理業務を受託
昭和47年	第1回士別市体育協会スポーツ表彰実施	平成18年	スポーツ表彰に生涯スポーツ賞を新設
昭和49年	士別市総合体育館落成記念にバレーボール日本リーグ招待試合開催	平成19年	士別市体育協会創立50周年・財団法人設立20周年記念式典挙行
昭和51年	歩くスキーの元祖エリキ・ピヒカラ氏による講演会実施	平成20年	須田力氏（現北海道大学名誉教授）健康・体力づくりサポーター事業アドバイザーに就任 北京五輪に出場のドイツ陸上選手団57名が直前合宿を実施
昭和52年	体育協会第3代会長に今井忠則氏就任 第1回市民スポーツのつどい開催 体育協会創立20周年記念式典挙行	平成22年	公益法人改革三法施行に伴い一般財団法人へ移行 第5代会長に神田英一氏就任 瀧上賢治選手がバンクーバーパラリンピックノルディックスキー競技に出場
昭和55年	国体ウエイトリフティング競技の開催地に決定 スポーツ少年団本部を設置	平成25年	24年ぶりとなる本市でのプロ野球公式戦・イースタンリーグ「北海道日本ハム」対「東京ヤクルト」戦 ふどう野球場で開催
昭和56年	体育協会組織に1本部3委員会を設置	平成26年	日独スポーツ少年団同時交流事業受入
昭和57年	体育協会シンボルマーク決定 64国体ウエイトリフティング競技準備委員会設立	平成27年	ピヒカラ樹氷歩くスキー40回記念大会開催
昭和58年	スポーツ表彰にジュニア・スポーツ奨励賞新設	平成28年	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会「ホストタウン」構想で一次登録 第92回箱根駅伝優勝「青山学院大学」の小椋裕介選手（士別市出身）が2年連続7区で区間賞を獲得
昭和60年	体育協会総会にて財団法人格取得の承認		競技カアップトータルサポート事業「ジュニア選手強化育成プログラム」を実施
昭和62年	体育協会創立30周年・財団法人設立記念式典挙行 第1回士別ハーフマラソン大会開催		旧青少年会館改修及び総合体育館トレーニング室拡張
昭和63年	士別市からふどう公園、グリーンスポーツ、学田スキー場等の管理業務を受託		士別ハーフマラソン30回記念大会
平成元年	第44回はまなす国体ウエイトリフティング競技大会開催	平成29年	国立台湾師範大学ウエイトリフティング部士別合宿 第1回アジア交流少年サッカー士別大会開催 国立台湾大学陸上部士別合宿
平成2年	日独スポーツ少年団同時交流事業受入		総合体育館トレーニング室内に低酸素・高酸素ルームを設置
平成3年	第1回リハビリテーション士別大会開催		体育協会創立60周年・財団法人設立30周年記念式典挙行
平成5年	北海道スポーツ少年大会開催		
平成8年	橋典人選手ウエイトリフティング競技でアトランタ五輪出場		
平成9年	体育協会創立40周年・財団法人設立10周年記念式典挙行 総合型地域スポーツクラブモデル事業実施		
平成10年	中峰寿彰・工藤博文両選手（市職員）カーリング競技で長野五輪出場		須田力氏へ特別功労賞授与

# 全国・国際大会出場選手紹介

【平成28年10月～平成29年9月】

## 第71回国民体育大会ウエイトリフティング競技会

10月1日～5日 岩手県奥州市

69キロ級 澁谷 瑠樹（士別翔雲高校3年） 4位

85キロ級 齊藤 玄（士別翔雲高校3年） 8位

## 内閣総理大臣杯第53回全日本社会人ウエイトリフティング競技選手権大会

11月20日～23日 愛媛県新居浜市

77キロ級 大留 義幸（士別市役所） 29位

77キロ級 佐藤 貴幸（士別市立病院） 32位

85キロ級 古川 敬（士別市役所） 14位

## 第19回全国小学生カヌートリプル研修大会

12月10日～11日 大阪府池田市

本間 楓（士別西小学校6年）チーム5位 個人：区間3位

## 平成28年度全国中学校体育大会 第24回全国中学校駅伝大会

12月17日～18日 滋賀県野州市

士別中学校陸上競技部 47位

## 第21回全国少年少女選抜レスリング選手権大会

3月11日～12日 東京都

小学6年女子45キロ級 丸 未永海（士別小学校6年）1回戦敗退

小学4年男子26キロ級 稲川 瑛太（士別小学校4年）1回戦敗退

## 宮城県知事杯第13回中学生軟式野球春季白石大会

4月1日～2日 宮城県白石市

士別南中学校野球部 7位

## 第9回世界マスターズゲームズ第33回男子世界マスターズウエイトリフティング大会

4月22日～27日 ニュージーランド・オークランド

M45 85キロ級 古川 敬（士別市役所） 4位

## 平成29年度沼尻杯第43回全国中学校レスリング選手権大会

6月10日～11日 茨城県水戸市

中学女子44キロ級 丸 未永海（士別中学校1年） 2回戦敗退

## 第34回全国少年少女レスリング選手権大会

7月21日～23日 福岡県北九州市

小学6年32キロ級 目黒 湊大（士別小学校6年） 2回戦敗退

小学5年28キロ級 稲川 瑛太（士別小学校5年） 1回戦敗退

## 第70回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会

7月29日～8月2日 山形県天童市

男子三段跳び 鈴木 大介（士別翔雲高校3年） 予選敗退

## 平成29年度全国高等学校定時制 通信制体育大会 第50回卓球大会

8月1日～3日 東京都

平賀 菜々（士別東高校3年） 3回戦敗退

平賀 麻衣（士別東高校2年） 3回戦敗退

## 全国高等学校総合体育大会第64回全国高等学校ウエイトリフティング大会

8月2日～6日 福島県福島市

56キロ級 池田 悠（士別翔雲高校3年） 34位

69キロ級 佐藤 晃大（士別翔雲高校2年） 26位

## 平成29年度第14回全国小学生学年別柔道大会

8月6日 札幌市

小学5年男子45キロ級 後藤田 柊斗（上士別小学校5年）2回戦敗退

## 第35回全日本マスターズウエイトリフティング競技選手権大会

8月17日～20日 新潟県那珂魚沼郡

85キロ級 古川 敬（士別市役所） 1位

69キロ級 殿山 拓哉（士別市管工事組合） 2位

77キロ級 佐藤 貴幸（士別市立病院） 3位

## 第44回全日本中学校陸上競技選手権大会

8月19日～8月22日 熊本県熊本市

男子3000M 辻本 幸翼（士別中学校3年） 予選敗退

## 平成29年度全国中学校体育大会第48回全国中学校柔道大会

8月22日～25日 福岡県福岡市

男子55キロ級 上村 洸太（士別中学校2年） 3回戦敗退

## 第31回全国中学生ウエイトリフティング競技選手権大会

8月23日～24日 石川県珠洲市

50キロ級 丹 翔琉（士別南中学校3年） 6位

77キロ級 目黒 脩也（士別南中学校3年） 4位

94キロ級 伊藤 佑悟（士別南中学校2年） 3位

94キロ級 羽田 創（士別南中学校3年） 1位

## 第16回全国女子中学生ウエイトリフティング競技選手権大会

8月23日～24日 石川県珠洲市

58キロ級 中川 真優子（士別中学校1年） 2位

## 平成29年度マルちゃん杯 全日本少年柔道大会

9月24日 東京都足立区

士別誠心館柔道スポーツ少年団 団体戦 2回戦敗退

（垂又征吾、安達力毅、高瀬斗綺、高瀬綾斗、

熊谷琥白、山本彪雅、安田大翔）